

安全データシート

【GHS6版、JIS Z 7252(2019)、JIS Z 7253(2019)に準拠】

作成:2026年 1月20日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KX021-01
製品名 : なつつよし
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途 : 農業資材(バイオスティミュラント)
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 : 区分2
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B
発がん性 : 区分1A
生殖毒性 : 区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系)
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期(急性) : 区分3
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 【健康有害性】

H225 引火性の高い液体および蒸気
H320 眼刺激
H350 発がんのおそれ
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H372 長期にわたる、又は、反復ばく露による肝臓の障害
H373 長期にわたる、又は、反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

【環境有害性】

H402 水生生物に有害
H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き 【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

- P210 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地すること。アースをとること。
- P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
- P260 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。

【応急処置】

- P303+P361+P353 皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
- P370+P378 火災の場合: 消火するために適切な消火剤(5. 火災時の措置参照)を使用すること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

- P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

- P501 内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性 組成物のエタノール蒸気は空気とよく混合し、爆発性混合物を生成しやすいので取扱いに注意する。
(7. 取扱い及び保管上の注意、9. 物理的及び化学的性質参照)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

エタノール

1, 3-ブタンジオール

ムラサキエキス(Lithospermum officinale, ext.)

成分情報

成分：	エタノール	含有量 (W/W)
	1, 3-ブタンジオール	60-70%
	ムラサキエキス	20-30%
その他成分：	水	1-10%
<合計>		100%

含有量 (W/W)

危険有害成分: エタノール 60-70%

化学式: C_2H_6O / エタノール
 $C_4H_{10}O_2$ / 1, 3-ブタンジオール

官報公示整理番号: 化審法 2-202 エタノール
2-235 ブタンジオール

CAS RN[®]: 64-17-5 / エタノール
107-88-0 / 1, 3-ブタンジオール
90063-58-4 / ムラサキエキス

4. 応急措置

吸入した場合: 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、衣服をゆるめて呼吸しやすい姿勢で休息させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。気分が悪い時は医師に相談すること。多量に吸入した場合は、直ぐにはなにも症状が認められなくても、必ず医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合: 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察および手当を受けること。

眼に入った場合: 目を擦ってはならない。直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。コンタクトを装着している、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

飲み込んだ場合: 安全な場所へ移動し、口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。嘔吐が起こった場合、胃からの嘔吐物が肺に入らないように頭部を下げる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状: 混合物の情報なし。下記症状はエタノールについての情報。

吸入: 咳、頭痛、倦怠感、嗜眠。皮膚: 皮膚の乾燥。眼: 充血、痛み、灼熱感。

経口摂取: 灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失。

応急措置をする者の保護: 救助者は状況に応じて適切な保護具を着用する。(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。

医師に対する特別注意事項: 治療方針を決定する際の問い合わせ先: (財団法人)日本中毒情報センター (「16. その他の情報」を参照)。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス消火剤等。

初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

使ってはならない消火剤: 棒状放水。

特有の危険有害性: 燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

特有の消火方法: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。風上から安全な距離を取って消火し、消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火活動上の注意: 火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置: 火災現場の状況に応じて、適切な化学用防護服、防火服又は防災服、自給式呼吸器を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。風下の人を退避させ、屋内の場合は回収処理が終わるまで十分に換気を行う。

作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。適切な防護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 漏出物は飛散しないように乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ、掃き

集めて密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移す。大量に漏出した場合は水系(河川や下水等)へ拡散しないように、速やかに堤を作って堰止め、回収し廃棄する。

二次災害の防止策: 全ての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火災の阻止)。危険でなければ、漏出物を速やかに回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化性物質との接触を避け、換気の良い場所で取扱う。屋内で取扱う場合は、防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用し、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

火災・爆発の防止: 禁煙。エタノール蒸気は空気とよく混合し、爆発性混合物を生成しやすいので、熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。火花を発生させない工具の使用や容器を接地する等、静電気放電に対する措置を講ずること。

安全取扱い注意事項: 局所排気および/または全体換気を行う。取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりにミストや蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。

接触回避: 強酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手や顔等を洗うこと。

保管

安全な保管条件: 通常の保管方法で問題なし。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。

安全な容器包装材料: 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省) : 未設定

許容濃度

日本産業衛生学会(2025年度) : 未設定

ACGIH(2025年) : エタノール TLV-STEL 1,000 ppm

設備対策: 屋内での取り扱いについては局所排気装置を併用し、全体換気装置のある場所で取扱う。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設け、位置を明瞭に表示すること。

保護具: 選定にあたっては「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル(2025年3月第2版 厚生労働省)」を参考にする。

呼吸用保護具: 作業に適する性能及び構造の防じんマスク又は防毒マスク(JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク、農薬用マスク等)を着用すること。

保護手袋: ゴム又は樹脂製の不浸透性の適切な化学防護手袋を着用すること。化学防護手袋の選定にあたっては、必要に応じて保護具メーカーから情報を入手すること。

保護眼鏡: 作業状況に応じた適切な保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)又は保護面を使用すること。

保護衣: 作業に適した作業着(長袖作業着、帽子、保護クリーム等)を着用する。作業状況により不浸透性の保護衣(化学防護服、化学防護長靴等)も選択する。

特別な注意事項: 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 暗赤紫色

臭い : わずかな特異臭

融点/凝固点 : データなし。

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし。

(参考)エタノール 78.5°C(沸点)

可燃性 : データなし。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし。

引火点 : 17°C(JIS K 2265-2 迅速平衡密閉法)

自然発火点	: データなし。	
分解温度	: データなし。	
加水分解性	: データなし。	
水中光分解性	: データなし。	
pH	: データなし。	
動粘性率	: データなし。	
溶解度(水)	: 混和する。	
(溶媒)	: データなし。	
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし。	
蒸気圧	: データなし。	
密度及び／又は相対密度	: 0.830～0.870(相対密度)	
最小着火エネルギー	: データなし。	
蒸気密度	: データなし。	
10. 安定性及び反応性		
反応性	: データなし。	
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定。	
危険有害反応可能性	: データなし。	
避けるべき条件	: 高温、着火源(裸火、火花等)から遠ざけること。 (「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照)	
混触危険物質	: 強酸化性物質	
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物。(「5. 火災時の措置」を参照)	
11. 有害性情報		
急性毒性(経口)	: 混合物のデータなし。 組成物の情報不足。 (参考) ・エタノール: 区分に該当しない(NITE-GHS分類) ・製品の類似品: マウス致死量= 20mL/kg以上 (溶媒除去後、精製水にて同濃度に調製)	「分類できない」
急性毒性(経皮)	: 混合物のデータなし。 組成物の情報不足。 (参考) ・エタノール: 区分に該当しない(NITE-GHS分類)	「分類できない」
急性毒性(吸入:ガス)	: GHSの定義における液体である。	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:蒸気)	: 混合物のデータなし。 組成物の情報不足。 (参考) ・エタノール: 区分に該当しない(NITE-GHS分類)	「分類できない」
急性毒性(吸入:ミスト)	: 混合物のデータなし。 組成物の情報不足。 (参考) ・エタノール: 分類できない(NITE-GHS分類)	「分類できない」
急性毒性(吸入:粉じん)	: GHSの定義における液体である。	「区分に該当しない」
皮膚腐食性/刺激性	: 混合物のデータなし。 組成物の情報不足。 (参考) ・エタノール: 区分に該当しない(NITE-GHS分類) ・製品の類似品:	「分類できない」

	<p>一次刺激性: 刺激反応を認めず (溶媒除去後、白色ワセリンにて同濃度に調製)</p> <p>連続刺激性: 刺激反応を認めず (原液のまま)</p>	
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	<p>: 混合物のデータなし。区分2Bに分類されるエタノールを混合物中にカットオフ値／濃度限界以上含有する。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の類似品: ごく軽度の刺激 (溶媒除去後、精製水にて同濃度に調製) 	「区分2B」
呼吸器感作性	: データなし。	「分類できない」
皮膚感作性	<p>: 混合物のデータなし。</p> <p>組成物の情報不足。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エタノール: 分類できない(NITE-GHS分類) ・製品の類似品 + Adjuvant: <ul style="list-style-type: none"> 陽性(6.25vol%水溶液) 陰性(0.39vol%水溶液) ・製品の類似品 - Adjuvant: <ul style="list-style-type: none"> 陰性(6.25vol%水溶液) 	「分類できない」
生殖細胞変異原性	<p>: 混合物のデータなし。</p> <p>組成物の情報不足。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エタノール: 分類できない(NITE-GHS分類) ・1,3-ブタンジオール: <ul style="list-style-type: none"> <i>in vitro</i> 染色体異常: 陰性(US EPA) ・製品の類似品: <ul style="list-style-type: none"> 復帰突然変異・Ames試験: 陰性(OECD TG471) 染色体異常・小核試験: 陰性(OECD TG474) 	「分類できない」
発がん性	<p>: 混合物のデータなし。</p> <p>組成物のエタノールは区分1Aに分類されている。</p> <p>混合物中にエタノールをカットオフ値／濃度限界以上含有する。</p>	「区分1A」
生殖毒性	<p>: 混合物のデータなし。</p> <p>組成物のエタノールは区分1Aに分類されている。</p> <p>混合物中にエタノールをカットオフ値／濃度限界以上含有する。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,3-ブタンジオール: <ul style="list-style-type: none"> ラット生殖発生毒性試験(経口投与): NOAEL 4236mg/kg/day(US EPA) 	「区分1A」
授乳を介した影響	: 混合物のデータなし。組成物の情報不足。	「分類できない」
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	<p>: 混合物のデータなし。</p> <p>組成物のエタノールは吸入ばく露による眼及び鼻への刺激症状があり、区分3(気道刺激性、麻酔作用)に分類されている。</p>	「区分3」 (気道刺激性、麻酔作用)

		混合物中にエタノールをカットオフ値 /濃度限界以上含有する。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	混合物のデータなし。 組成物のエタノールは区分1(肝臓)、 区分2(中枢神経系)に分類されている。 混合物中にエタノールをカットオフ値 /濃度限界以上含有する。	「区分1(肝臓)」 「区分2(中枢神経系)」
誤えん有害性	:	混合物のデータなし。 組成物の情報不足。	「分類できない」
その他情報	:	(参考) ・製品の類似品: ラット28日間反復投与試験:毒性なし。 (「農薬登録申請に係る試験成績について」 12農産第8147号農林水産省農産園芸局長 通知:OECD TG407) 光毒性:陰性(10%水溶液)	

12. 環境影響情報

水生生物に対する影響

混合物のデータなし。製品の類似品における以下の生態毒性データから水生環境有害性 短期(急性)を区分3、急速分解性が不明であることから長期(慢性)を区分3とした。

生態毒性(製品の類似品)

魚	ヒメダカ	:	96時間 LC ₅₀	32~100 mg/l ^(*1) (<i>Oryzias Latipes</i>)
甲殻類	オオミジンコ	:	48時間 EC ₅₀	32~100 mg/l ^(*2) (<i>Daphnia magna</i>)
藻類	緑藻類	:	72時間 ErC ₅₀	> 100 mg/l ^(*3) (<i>Raphidocelis subcapitata.</i>)

(注) (*1):OECD TG203、(*2):OECD TG202、(*3):OECD TG201

その他の生物への有害性	:	混合物のデータなし。
残留性・分解性	:	混合物のデータなし。 (参考)エタノール:良分解性 (BODによる分解度89%(化学物質安全性点検試験結果 1993))
生体蓄積性	:	混合物のデータなし。
土壌中の移動性	:	混合物のデータなし。
オゾン層への有害性	:	混合物のデータなし。
その他	:	水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

容器の洗浄水等は河川に流さず、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

残余廃棄物の廃棄処理を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後自治体の規則に従って処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国際規制

国連番号(UN number)	:	1170
国連輸送名(Proper shipping name)	:	エタノール又はエタノール溶液

国連分類(Class)	: クラス3(引火性液体類) 容器等級Ⅱ
海洋汚染物質(Marine pollutant)	: 非該当
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。
特別安全対策	: 情報なし。
バルク輸送におけるMARPOL 条約附属書Ⅱ及びIBCコード	: 有害液体物質(Z類物質)
緊急時応急措置指針番号	: 127
特別規定番号	: 144

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令第18条(表示対象物質)	: エタノール(60-70%)(安衛則別表第2の205)
施行令第18条の2(通知対象物質)	: エタノール(60-70%)(安衛則別表第2の205)
施行令別表第1(危険物 引火性の物)	: エタノール その他の引火点が0℃以上30℃未満の物
安衛則第 577 条の2(がん原性物質)作業記録等の30 年間保存対象物質	: 非該当(厚生労働省告示第371号 令和4年12月26日)

労働基準法

: 非該当(施行規則別表第1の2第4号)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

: 非該当

毒物及び劇物取締法

: 非該当

消防法

: 第4類 引火性液体 第1石油類水溶性液体 危険等級Ⅱ(指定数量400L)

農薬取締法

: 非該当

船舶安全法

: 危規則第2条危険物告示別表第1:引火性液体類

航空法

: 施行規則第194条危険物告示別表第1:引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

: 海洋汚染物質(Z類物質)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

: 産業廃棄物

16. その他の情報

本安全データシートは株式会社メニコンから提供のあった、「PP600 SAFETY DATA SHEET」の記載内容に基づき作成しております。記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の手続きを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分に注意して下さい。

使用に当たっては、製品等のラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:

- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
- 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
- 3) GHS分類ガイダンス(Ver.2.1) 経済産業省(令和6年5月)
- 4) 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会2025年度)
- 5) 2025 TLVs[®] & BEIs[®] (ACGIH)
- 6) 株式会社メニコン提供「PP600 SAFETY DATA SHEET」RSDSDS033/003
(制定日2024.2.5 改訂日2026.1.8)
- 7) NITE-CHRIP 有害性・リスク評価情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料（1 件 2,000 円）は弊社が負担いたします。